

平成 16年 3月期

第 1 四半期業績の概況(連結)

平成 15年 7月 31日

上 場 会 社 名 第一工業製薬株式会社

上場取引所 東 大 名

コード番号 4461

本社所在都道府県

(URL http://www.dks-web.co.jp)

京都府

代 表 者 役 職 名 取締役社長

氏 名 植田 武彦

問合せ先責任者 役 職 名 専務取締役総務経理本部長

氏 名 宮本 昭一

TEL (075) 255 - 0900

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無： 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況： 無

2. 平成 16年 3月期第 1 四半期の業績概況(平成15年4月1日～平成15年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

期	項目	売上高	営業利益	経常利益
		百万円	百万円	百万円
平成16年3月期第1四半期		8,797	191	200
平成15年3月期第1四半期		-	-	-
(参考)平成15年3月期通期		36,490	653	595

期	項目	当期(四半期)純利益	1株当たり 当期純利益
		百万円	円 銭
平成16年3月期第1四半期		59	1.80
平成15年3月期第1四半期		-	-
(参考)平成15年3月期通期		399	11.94

(注) 当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績および増減率につきましては記載しておりません。平成 16年 3月期第 1 四半期の数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期におけるわが国経済は、後半における株式市場の回復など一部に回復の兆しが見られたものの、依然として金融不安、デフレ経済の深刻化、雇用情勢の悪化などにより、引き続き厳しい状況で推移しました。

当社の属します化学業界におきましては、事業再編などの構造改革が進められておりますものの、原油高基調による石化原料価格の高止まりやアジア向け輸出の鈍化などの影響を受け、厳しい環境でのスタートとなりました。

このような状況の中で、当社は引き続き、基幹製品事業の収益力の向上や新規事業の育成及び営業経費の抑制等に努めました。

この結果、当第 1 四半期は、売上高 8 7 億 9 7 百万円、営業利益 1 億 9 1 百万円、経常利益 2 億円、当期純利益 5 9 百万円となりました。

(参考)平成 16年 3月期第 1 四半期の個別経営成績の概況(平成15年4月1日～平成15年6月30日)

期	項目	売上高	営業利益	経常利益
		百万円	百万円	百万円
平成16年3月期第1四半期		7,699	132	191

期	項目	当期(四半期)純利益	1株当たり 当期純利益
		百万円	円 銭
平成16年3月期第1四半期		98	3.00

(注) 上記の数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中 間 期	18,400	330	130	3.95
通 期	37,000	900	430	13.08

(参考)平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想配当金		
				中間	通期	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中 間 期	15,800	350	140	0.00	-	-
通 期	31,800	800	350	-	5.00	5.00

[業績予想について]

今後のわが国経済は、本格的な景気回復の兆しは見えず、更に景気先行き不透明感は続き、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

当該四半期における業績は概ね計画通りに推移しており、連結・個別とも平成15年5月12日に発表しました業績予想の修正はありません。

[業績予想に関する注意事項]

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上